

学生貢献を論文情報に登録するための新項目の追加のお知らせと、既登録情報への追加登録のお願い。

はじめに

平成23年4月に福井研究担当理事に随行して各部局執行部を訪問し,「徳島大学 教育・研究 者情報データベース」(以下, EDB)への情報登録,登録情報の活用に関する意見交換を行わせ ていただきました。その際,医学部よりEDBを利用して教員毎,組織毎の研究業績を集計するだ けでなく,「<u>学部毎,教育部毎に所属学生による研究業績(論文,国際会議など)への貢献を集</u> 計できるようにして欲しい」との要望を頂きました。

学部,教育部の所属学生による研究業績への貢献,すなわち学生による研究活性度は現代GP 等の競争的外部資金獲得のための基礎資料として活用できる他,学生が身に付けた学習成果を示 すものとして平成25年度受審予定の「大学機関別認証評価」の中で教育の内部質保証の根拠資料 として参照されるものになります。したがって、この集計は、特定の学部、教育部のみではな く、全学部、教育部にとって共通かつ重要なものであるとともに、今後頻繁に調査が行われると 判断し,重複調査の回避、簡便化を行うために各研究業績に対して学生貢献を登録、集計できる ようにEDBの論文情報の定義を改良しました。

本ニューズレターでは,研究業績に学生の貢献を登録するための新項目の追加したことをお知 らせするとともに,論文情報に学生貢献を登録する方法(既登録情報を含む),およびご自身で 登録が困難な方のために登録代行サービスを利用して学生貢献を追加登録する方法について説明 します。

教員の皆様においては、情報登録の目的をご理解いただき、ご協力をお願いします。

評価情報分析センター長 大家 隆弘

学生貢献を論文情報に登録するための新項目

EDBでは,審査論文,国際会議,国内学会,研究会発表等の情報を【著作】情報として蓄積 しております。【著作】情報には項目[著者]があり,本学教員の場合にはこの項目に教員の【個 人】情報を参照登録することにより当該教員の業績として識別しております。

学生の場合,対象となる学生数が膨大であることおよび学生の個人情報保護等の観点において EDBに学生の個人情報を登録すべきでないことから,上記のような方法は採らず,項目[著者]に 副項目として,

* [著者].[所属(学生)]…学生が所属する学科(学部),専攻,コース(教育部)を選択登録,

* **[著者].[肩書(学生)]**…学生の肩書(「学生(学士課程)」,「学生(博士前期課程)」,「学生 (博士後期課程)」,「学生(研究生)」など)を選択登録

(論文に対して貢献を行った期間における学生の所属, 肩書を登録する)

の2つを追加し, **これらの副項目に登録がある場合に学生貢献のある研究業績とみなす**ことにし ました。いずれの項目も**本学学生についてのみの登録**であり,本学以外の学生については登録す る必要はありません。

対象となる既登録情報の範囲については,情報の利用目的に依りますが,平成16年度(2004 年度)法人化以降の【著作】情報について追加登録して頂ければ十分と思われます。





1.EDBに登録されている著作の一覧を出 1.「教育研究者総覧」の御自身 2.EdbAssistanceの帳票出力 3.EdbClientの会帳出力	出力する.例えば, rの頁の論文リストが記載 (RTF出力等)	されて	τι	いる箇所	
のいずれかをプリントアウトもしく(は編集可能なファイル形式	で保	存	する。	
2. 著作の一覧の著者(学生)名をマーク (プリントアウトの場合) 著者のうち学生名をマーカ等で示し	クする。 ヶ,所属学科,専攻,コー	スお。	よび	び肩書(学士課	
程,博士前期課程,博士後期課程な (ファイルの場合)	ど)を添え書きして下さい	,۱ _°			
著者のうち学生名に背景色をつけ、	所属学科,専攻,コーン ど)を添え書きして下さ!	スおよ	よて	び肩書(学士課	
◆ 学生の所属, 肩書の組合せが数	重類のみに限られる場合に	0'0			
は、例えば学生種毎にマーカの色(又は、背景色)を使い 分け、右記のように色と学生の所属、肩書の対応表を別に		緑	禄 00学部00学科,学生(学士語		
		青	0	○教育部○○専攻,学生(博士	:前期課程)
示すなどの方法で,手間を省いて]	頁いて結構です。	赤	赤 00教育部00専攻, 学生 (博		:後期課程)
新蔵地区本部1F 評	価情報分析センター	宛			
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付、ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ	² 価情報分析センタータ は tokushima-u.ac.jp (参考) 法人化(2004	宛 (年4月))]	以降の本学の学科,専攻,コー	スの設置
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付、ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の	福情報分析センター は tokushima-u.ac.jp (参考) 法人化 (2004	宛 年4月 専攻)] ζ,	以降の本学の学科, 専攻, コー コース	スの設置 設置年月
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付,ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	確情報分析センター は tokushima-u.ac.jp (参考) 法人化 (2004 学科 総合科学部 人間文化学科, 総合科学部 人間文化学科,	元 年4月 社会館)」 て, 川生	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科	スの設置 設置年月 2009年4月 2009年4月
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付,ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	 価情報分析センター多 は tokushima-u.ac.jp (参考) 法人化 (2004 学科, 総合科学部 人間文化学科, 総合科学教育部 地域科学専 医科学教育部 医科学専攻, 	元 年4 年4 年 4 月 攻 創 臨 専)」 (,) () () () () () () () () () () () () ()	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科 心理学専攻 , プロテオミクス医科学専攻	スの設置 設置年月 2009年4月 2009年4月 2009年4月 2004年4月
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付、ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	 価情報分析センターダ は tokushima-u.ac.jp (参考)法人化 (2004 (参考)法人化 (2004 ※合科学部 人間文化学科, 総合科学教育部 地域科学専 医科学教育部 医科学専攻, 栄養生命科学教育部 人間栄 	宛 年4 専会 ,学科 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二))」 ()」 () () () () () () () () () () () () ()	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科 心理学専攻 , プロテオミクス医科学専攻 攻	スの設置 設置年月 2009年4月 2009年4月 2009年4月 2004年4月 2004年4月
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付,ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	 価情報分析センターダ は tokushima-u.ac.jp (参考)法人化 (2004 (参表) (2004 (参表) (2004 (参表) (2004 ((b) (2004 ((宛 年4)」, 」上本文專課	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科 心理学専攻 , プロテオミクス医科学専攻 攻 程)	スの設置 設置年月 2009年4) 2009年4) 2004年4) 2004年4) 2004年4) 2006年4)
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付,ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	 価情報分析センターダ は tokushima-u.ac.jp (参考)法人化 (2004 (参表) (2004 (参表) (2004 (参表) (2004 (参表) (2004 ((b) (2004 ((宛 年4 専会,学科修博 りな創臨専学士士)」 ()」 ()」 () () () () () () () () () () () () ()	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科 心理学専攻 , プロテオミクス医科学専攻 攻 程) 期課程, 博士後期課程)	スの設置 設置年月 2009年4月 2009年4月 2004年4月 2004年4月 2006年4月 2006年4月 2008年4月
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付,ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	 価情報分析センターダ は tokushima-u.ac.jp (参考)法人化 (2004 (参表) (2004 (参表) (2004 (参表) (2004 ((A) (2004 ((宛 年4 専会、学科修博 の)」, 生床攻專課前	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科 心理学専攻 , プロテオミクス医科学専攻 攻 程) 期課程, 博士後期課程)	スの設置 設置年月 2009年4月 2009年4月 2009年4月 2004年4月 2004年4月 2006年4月 2008年4月 2007年4月 2007年4月
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付,ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	 価情報分析センターダ は (参考)法人化 (2004 (○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○	宛 年4政医養((攻専月攻創臨専学士士)」, 生床攻, 専課前	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科 心理学専攻 , プロテオミクス医科学専攻 攻 程) 期課程, 博士後期課程)	スの設置 設置年月 2009年4月 2009年4月 2004年4月 2004年4月 2004年4月 2006年4月 2008年4月 2007年4月 2007年4月 2004年4月
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付,ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	 価情報分析センターダ は (参考)法人化 (2004 (○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○(○	宛) 、 」 、 生 床 攻 専 課 前	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科 心理学専攻 , プロテオミクス医科学専攻 攻 程) 期課程, 博士後期課程)	スの設置 設置年月 2009年4月 2009年4月 2004年4月 2004年4月 2006年4月 2006年4月 2007年4月 2004年4月 2004年4月 2001年4月 2006年4月
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付,ファイルの場合に(register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	 価情報分析センターダ は (参考)法人化 (2004 (参表) (2004 (参表) (2004 (参表) (2004 ((b) (2004 ((b) (2004 ((b) (2004 ((b) (2004 ((b) (2004 ((b) (2004	宛)」,生床攻專課前 生前	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科 心理学専攻 , プロテオミクス医科学専攻 攻 程) 期課程, 博士後期課程) 命薬学専攻 mman)	スの設置 設置年月 2009年4月 2009年4月 2009年4月 2004年4月 2004年4月 2006年4月 2007年4月 2007年4月 2007年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月 2006年4月
新蔵地区本部1F 評 に学内便で送付、ファイルの場合にし register@db.t に電子メールにて送付して下さ い。(メール表題は「学生貢献の 登録依頼」として下さい。)	 価情報分析センターダは ためにのいかって、 (参考)法人化(2004) (参表)法人化(2004) (参表)法人化(2004) (参表)法人化(2004) (参表)法人化(2004) (参表)法人化(2004) ((参表)法人化(2004) (((((((((((宛 年4 専会、学科修博 の の の の の の の で し の で し の で し の で の の の の の の の の の の の の の	〕 、 、 」 に 、 り に 、 り に 、 り に に 、 り に に 、 り に に 、 り に に 、 り に に 、 り に に 、 り に 、 り に 、 り に 、 り に 、 り に 、 り に 、 り に 、 の 、 、 の 、 の 、 の 、 の 、 、 、 の 、 、 、 、 、 の 、 、 、 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	以降の本学の学科, 専攻, コー コース 学科, 総合理数学科 心理学専攻 , プロテオミクス医科学専攻 政 程) 期課程, 博士後期課程) 命薬学専攻 期課程)	スの設置 設置年月 2009年4) 2009年4) 2004年4) 2004年4) 2006年4) 2007年4) 2007年4) 2004年4) 2011年4) 2006年4) 2006年4) 2006年4) 2010年4)